

神奈川県で死亡野鳥からA型鳥インフルエンザが検出されました！！

神奈川県伊勢原市において、死亡野鳥からA型鳥インフルエンザウイルスが検出されました。また、韓国では9月23日に野鳥の糞便からH5亜型鳥インフルエンザウイルス（病原性未確定）を検出しています。

今シーズン初めての情報です。再度、飼養衛生管理基準を点検し、野生動物侵入防止や消毒などの発生予防対策を徹底して下さい。

＜経緯＞

9月25日

- ・神奈川県伊勢原市で衰弱したハヤブサを回収

9月26日

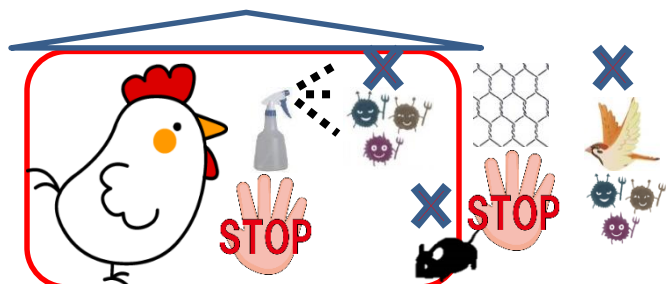
- ・死亡したため、簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応を確認

＜対応＞

- ・今後、高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査にて確定検査を実施
- ・今回の回収地点周辺10km圏内を野鳥重点監視区域に指定し監視強化



- ◆病原性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザが確認されたわけではありません。
- ◆発生予防対策を再点検し、徹底して下さい。



- ・野生動物対策徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！

毎日の健康観察で異常を認めた場合は、直ちに通報願います。

京都府中丹家畜保健衛生所
TEL 0773-25-1860
(休日・夜間は転送されます)

福知山市字半田371-2
FAX 0773-25-1861